

1 基本項目	事務事業名	産業観光推進事業			担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	産業観光推進事業				係名	商工労働・企業立地係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-6195	
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	目標名	目標3. 輝くまち					商工費	
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					商工費	
	施策名	施策22. 観光の振興					商工振興費	
	基本事業名	基本事業22-1. 地域資源のブランド力向上					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令						総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況						集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	本市における農・林・水産・商工業などが持つ新たな可能性の掘り起こしや、既存の産業観光のブラッシュアップを行うなど、本市の特色を活かした新たな産業観光について関係機関と連携しながら調査・研究を進める。また、産業観光を観光分野における新たなコンテンツとして活用し、交流人口の拡大につなげる。
	対象	市内事業所
	手段(活動指標)	市内事業所を対象とした産業観光ツアーを開催
	意図(成果指標)	市内外の方にツアーへ参加してもらうことで市内企業の事業内容等を広く周知していき、将来的な雇用の確保につながるとともに、ツアーを受け入れた企業においては、従業員のモチベーション向上が図られる。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 産業観光ツアー実施回数	回	0	0	2	3	150.0%	3
	②							
	① 産業観光実施事業者	個所	0	0	8	14	175.0%	15
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	0	0	148,800	123,284		159,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	0	0	148,800	123,284		159,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	0	0	300	300		300
総費用	③人件費(②×@ 3,876円)(B)	円	0	0	1,162,800	1,162,800		1,162,800
	総費用(A+B)	円	0	0	1,311,600	1,286,084		1,321,800

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	8/27(土)主催:市商工観光	参加者 20名 参加企業等 4社
	10/15(土)・16(日) ※〇〇魚津と同時開催 主催:観光協会	参加者 40名(15日25名 16日15名) 参加企業等 15(土)3社、16(日)3社
	3/25(土)主催:観光協会	参加者 20名 参加企業等 4社

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
有効性	有効性	B	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	A		③対象の妥当性	1 妥当である	
					①目標達成度	1 高い	
結果(課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	1 高い		
1次評価	今後の方針	〇現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	産業観光ツアーの実施は市内の産業の周知、認知度を高めることに大変効果があるが、今後としては、ツアーとして採算がとれる旅行商品として内容のブラッシュアップを図る必要がある。そうしたことから観光戦略係や観光協会、受け入れ先の企業等と販売が可能となるような内容となるよう調整を行っていく。	2次評価	②実施主体の適正化	1 適正である
						③負担割合の適正化	1 適正である
					不要		

1 基本項目	事務事業名	観光・物産宣伝事業				担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	観光・物産宣伝事業					係名	観光戦略係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	昭和40年代	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標3. 輝くまち					款	商工費	
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費		
	施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費		
	基本事業名	基本事業22-1. 地域資源のブランド力向上				総合計画主な事業			記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連			関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連			関連あり(評価対象)

2 事業概要	事業概要	魚津市のみどころ(観光資源やイベントなど)や特産物等をPRすることにより、県内外からの観光客を誘致し、市全体の活性化を目指す。加えて市内のイベント開催及び観光関係諸団体の活動に対して支援を行う。
	対象	全国民(首都圏、関西圏、中京圏の住民が主なターゲット)、観光関係団体
	手段(活動指標)	パンフレット作成、TVや新聞、雑誌等への広告、観光協会・観光ボランティア支援等。首都圏や関西圏など大都市圏での物販、観光PRの実施。
	意図(成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 広告費(新聞・テレビ等)	円	1,108,500	1,470,500	1,600,000	1,540,434	96.3%	1,600,000
	② 県外出向宣伝	回	2	3	7	7	100.0%	7
成果	① 当年観光客入込数	人	881,364	922,704	1,536,000	1,143,539	74.4%	1,567,000
	② 延べ宿泊客数	人	177,538	190,466	295,000	219,371	74.4%	301,000

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	5,125,802	8,711,485	31,203,000	27,605,756	216.9%	12,346,000
	① 国庫支出金	円		580,000				
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円		4,720,000	25,200,000	22,635,000	379.6%	7,700,000
人件費	⑤ 一般財源	円	5,125,802	3,411,485	6,003,000	4,970,756	45.7%	4,646,000
	① 事務事業に携わる正規職員数	人	4	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,900	900	900	900	0.0%	900
総費用(A+B)	円	12,490,202	12,199,885	34,691,400	31,094,156	154.9%	15,834,400	

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビや新聞・雑誌等への広告</li> <li>・観光ボランティアや蜷気楼研究会等の観光関連団体の支援等を実施</li> <li>・イルミラージュUOZU、魚津の朝市等のイベントに対する補助金交付</li> <li>・じゃんとこい魚津まつり事業運営費補助金交付</li> <li>・70周年記念事業に対する補助金交付</li> <li>・蜷気楼出現週間予測業務の実施(委託)</li> <li>・着地型観光パンフレット「UO!NAVI」の増刷</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	新幹線開業効果を持続させるとともに、コロナ禍においては県内及び近隣県からの誘客により交流人口減少を減らし、ビヨンドコロナによる首都圏からの誘客や北陸新幹線延伸を見据えた関西圏からの誘客による交流人口の拡大が想定され、引き続き効果的な観光PRを実施していくことが重要と考えられる。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	食泊連携事業				担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	食泊連携事業					係名	観光戦略係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1025		
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				予算科目	款	商工費
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					項	商工費
		施策名	施策22. 観光の振興					目	観光費
		基本事業名	基本事業22-1. 地域資源のブランド力向上					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	魚津駅前を中心に賑やかな飲食店街と数多くある宿泊施設が立地するという観光インフラの特性を活かし、食の魅力をもつながら観光客の誘客や延泊を図る。
	対象	市内飲食店、宿泊施設、観光客
	手段(活動指標)	魚津市観光協会、各実施主体等に対し補助又は業務を委託
	意図(成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 補助金額(※R3計画値から指標名を「負担金」に変更)	円	0	1,453,861	3,000,000	2,235,100	74.5%	3,000,000
	② 委託金額(※R2年度実績値まで)	円	0					
成果	① 当年観光客入込数	人	881,364	922,704	1,536,000	1,143,539	74.4%	1,567,000
	② 延べ宿泊客数	人	177,538	190,466	295,000	219,371	74.4%	301,000

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	0	1,453,861	7,000,000	5,044,046	246.9%	3,000,000
	① 国庫支出金	円		726,930	1,500,000	1,117,000	53.7%	1,500,000
	② 県支出金	円				936,000		
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤ 一般財源	円	0	726,931	5,500,000	2,991,046	311.5%	1,500,000
	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	200	300	300	900	200.0%	900
総費用	③ 人件費(②×@ 3,876円)(B)	円	775,200	1,162,800	1,162,800	3,488,400	200.0%	3,488,400
	総費用(A+B)	円	775,200	2,616,661	8,162,800	8,532,446	226.1%	6,488,400

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>令和3年度から3カ年度の計画で地方創生推進交付金を活用し、とやま観光推進機構と連携した「食の磨き上げ支援プロジェクト」の取組みとして、観光客が求めるニーズを探るため、来訪者に対するニーズ調査を実施し、年齢、出身エリア別の旅行先に求める内容や魚津の認知度、旅行中の食に関するニーズ等について調査・分析を行った。 また、紅ズワイガニの需要把握、流通確保に関する実証実験として「魚津蟹騒動」を実施した。</p>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	2 検討の余地あり	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	B	C	実施主体と内容の見直しが必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり	
				③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり	
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり	不要	
	今後の方針	<input type="radio"/> 現状を維持 <input type="radio"/> 事業の拡充 <input type="radio"/> 事業の縮小 <input type="radio"/> 統合等の検討 <input type="radio"/> 終了又は廃止・休止	方針の説明等	魚津の食の魅力と宿泊施設数や立地の良さを生かした食泊連携事業は魚津への誘客のために重要な要素であり、飲食店組合やホテル旅館組合等からの意見を踏まえ、事業内容を再構築して進めるべき事業であると考えている。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	インバウンド等推進事業				担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	インバウンド等推進事業					係名	観光戦略係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	平成28年度	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				予算科目	款	商工費
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					項	商工費
		施策名	施策22. 観光の振興					目	観光費
		基本事業名	基本事業22-2. 地域の魅力発信体制の整備					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	台湾を中心とした外国人観光客の増加を図るため、台湾などでの観光PRの実施や広告宣伝活動を実施する。また受入体制の整備も図る。
	対象	外国人観光客
	手段(活動指標)	海外現地でのPR活動数、海外に向けての宣伝活動数
	意図(成果指標)	市内外国人延べ宿泊者数

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 海外現地でのPR活動数	回	0	0	1	1	100.0%	1
	② 海外に向けての宣伝活動数	回	1	2	2	2	100.0%	2
成果	① 市内外国人延べ宿泊者数	人		1,113		739		13,503
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	6,411,646	6,625,560	2,300,000	2,300,000	-65.3%	6,700,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						4,000,000
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	6,411,646	6,625,560	2,300,000	2,300,000	-65.3%	2,700,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	1	1	1	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,300	300	300	300	0.0%	300
総費用	③人件費(②×@ 3,876円)(B)	円	5,038,800	1,162,800	1,162,800	1,162,800	0.0%	1,162,800
	費用(A+B)	円	11,450,446	7,788,360	3,462,800	3,462,800	-55.5%	7,862,800

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾向けホームページ管理</li> <li>・台湾・香港向け訪日旅行情報ウェブサイトへの繁体字での観光情報掲載(R1~継続)</li> <li>・多言語観光情報サイトへの掲載及び情報発信</li> <li>・多言語観光パンフレットの更新・増刷</li> <li>・台湾現地での商談会の実施</li> <li>・リターゲティング広告配信の実施</li> <li>・訪日意欲のある国・地域の観光情勢等の情報収集に関する講演会の実施</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	A	A		①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である	
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③対象の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	根本的変更でなく進め方の改善が必要	①目標達成度	2 目標どおり	
2 次評価					②類似事業の有無	1 なし	
					③上位施策への貢献度	1 高い	
1 次評価					①コスト効率	2 普通	
					②実施主体の適正化	2 改善の余地あり	
2 次評価					③負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当			
	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	当初は台湾にターゲットを絞ってインバウンド事業を実施していたが、台湾を中心としながら他国からも幅広く誘客する必要がある。受入体制整備やPR活動のほか、SNSを活用した情報発信など効果的な取組みも重要である。地域活性化起業人の取組みは終了したが、インバウンド需要獲得のため地道な活動は継続する必要がある。			

1 基本項目	事務事業名	受入体制整備事業				担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	受入体制整備事業					係名	観光戦略係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				予算科目	款	商工費
		政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					項	商工費
		施策名	施策22. 観光の振興					目	観光費
		基本事業名	基本事業22-3. イベント・受け入れ体制の充実					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済( )				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	本市への来訪者に対する満足度向上のため、観光スポットでの観光案内、清掃等を行うとともに、自転車の貸し出し、観光案内看板の管理のほか、誘客宣伝事業及び観光案内所業務の充実を図るため、関係団体に対して支援を行う。
	対象	観光施設
	手段(活動指標)	松倉城跡の公衆便所の維持管理、海の駅蜃気楼周辺での観光案内、清掃委託業務。
	意図(成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 松倉城跡清掃委託料	円	128,400	128,400	128,400	128,400	100.0%	0
	② しんきろうロード交通整理・清掃委託料	円	1,099,965	1,130,749	1,297,040	1,297,040	100.0%	1,360,400
	① 当年観光客入込数	人	881,364	922,704	1,536,000	1,143,539	74.4%	1,567,000
	② 延べ宿泊客数	人	177,538	190,466	295,000	219,371	74.4%	301,000

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	14,544,388	19,221,160	41,760,000	25,520,483	32.8%	33,896,000
	①国庫支出金	円		750,000	13,400,000	8,181,700	990.9%	7,250,000
	②県支出金	円		467,000	483,000	478,000	2.4%	499,000
	③地方債	円			7,700,000	5,700,000		0
	④その他(使用料、雑入等)	円	12,491,000	10,724,000	600,000	560,000	-94.8%	11,250,000
人件費	⑤一般財源	円	2,053,388	7,280,160	19,577,000	10,600,783	45.6%	14,897,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,900	1,600	1,600	2,000	25.0%	2,000
総費用(A+B)	円	21,908,788	25,422,760	47,961,600	33,272,483	30.9%	41,648,000	

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚津駅観光案内所整備</li> <li>・観光推進体制組織強化事業</li> <li>・駅前歓迎フラッグ(市制施行70周年)製作</li> <li>・レンタサイクル「みらくる」貸出取り扱い委託、維持管理</li> <li>・松倉城跡公衆便所清掃、草刈り委託</li> <li>・蜃気楼展望地での観光案内説明員設置、清掃委託</li> <li>・魚津市観光協会、魚津駅前観光案内所、おおまち観光案内所運営補助</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状を維持</li> <li>○事業の拡充</li> <li>○事業の縮小</li> <li>○統合等の検討</li> <li>○終了又は廃止・休止</li> </ul>	方針の説明等	観光協会の体制強化は今後の観光振興にとっても重要であることから、民間を含めた支援体制を強めていくことが必要である。R4年度からの第3次観光振興計画の進捗状況を点検していく必要がある。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	受入体制整備事業（魚津の宿泊割引事業）				担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	受入体制整備事業					係名	観光戦略係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	令和2年度	終了年度	令和4年度	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標3. 輝くまち					款	商工費	
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費		
	施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費		
	基本事業名	基本事業22-3. イベント・受け入れ体制の充実				総合計画主な事業			記載あり（評価対象）
	根拠法令					総合戦略との関連			関連あり（評価対象）
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	新型コロナウイルス感染症の予防対策を行っている宿泊事業者等が実施する宿泊割引事業に対して、補助金を交付して支援するもの。【R4】コロナ禍による落ち込んだ国内旅行需要を喚起し、市内観光事業者への支援につなげるため、市内の宿泊施設や飲食店・物販施設等で利用できる電子地域通貨MiraPay（ミラペイ）を県内外の旅行者に販売し、域内消費の拡大を図るもの。
	対象	宿泊事業者、旅行会社
	手段（活動指標）	宿泊割引事業を実施する事業者に補助金を交付する。【R4】市内の宿泊施設や飲食店・物販施設等で利用できる電子地域通貨MiraPay（ミラペイ）をプレミアム分を付与して県内外の旅行者に販売する。
	意図（成果指標）	宿泊施設を支援し、県内及び近隣県から市内宿泊施設及び観光施設等への来訪者が増加することで、宿泊者数や消費額が増加し、観光事業者及び地域経済の活性化につながる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 【R2.3】 宿泊割引事業補助金執行額（割引利用額）	円	31,915,900	63,741,060	-	-	-	-	
	② 【R4】 MiraPay利用額（市内流通額）	円	-	-	90,700,000	72,090,791	79.5%	-	
	成果	① 当年観光客入込数	人	881,364	922,704	1,536,000	1,143,539	74.4%	-
		② 延べ宿泊客数	人	177,538	190,466	295,000	219,371	74.4%	-

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	33,618,170	63,741,060	108,700,000	89,744,608	40.8%	0
	①国庫支出金	円	31,065,770	61,564,060	49,297,000	58,502,398	-5.0%	0
	②県支出金	円						0
	③地方債	円						0
	④その他（使用料、雑入等）	円			33,300,000	26,676,000		0
人件費	⑤一般財源	円	2,552,400	2,177,000	26,103,000	4,566,210	109.7%	0
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,300	1,200	1,200	1,600	33.3%	1,600
総費用	③人件費（②×@ 3,876円）(B)	円	5,038,800	4,651,200	4,651,200	6,201,600	33.3%	6,201,600
	費用 (A+B)	円	38,656,970	68,392,260	113,351,200	95,946,208	40.3%	6,201,600

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚旅キャンペーン（宿泊割引事業）実施にかかる情報発信・PR</li> <li>・宿泊割引事業にかかる指定事業者への補助金交付</li> <li>【R4】</li> <li>・魚津市電子地域通貨MiraPayを活用した制度設計・運用</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	A	C	実施主体と内容の見直しが必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	1 なし		
結果（課長総括）	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	③ 上位施策への貢献度	1 高い		
				① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり		
1 次評価	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等 新型コロナウイルスの影響を受けている宿泊事業者等を支援するため、また、コロナ禍における県内及び近隣県からの誘客促進のために有効な事業であり、また、魚津市電子地域通貨MiraPayの普及や地域経済循環にも一定程度寄与したが国の交付金が見込めないことからR4年度をもって廃止とする。	2 次評価	③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	サイクリングを活用した賑わい創出事業			担当部署	課等名	商工観光課		
	予算事業名	サイクリングを活用した賑わい創出事業				係名	観光戦略係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1025		
	事業期間	開始年度	令和4年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標3. 輝くまち					款	商工費	
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり					項	商工費	
	施策名	施策22. 観光の振興					目	観光費	
	基本事業名	基本事業22-3. イベント・受け入れ体制の充実					総合計画主な事業		記載なし
	根拠法令						総合戦略との関連		関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済( )					集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	富山湾岸サイクリングコースがナショナルサイクルルートに指定されたほか、市内周遊ルートが整備されたことから、気軽にサイクリングを楽しめるよう環境整備を行うとともに、市内サイクリングコースの利用促進に向けた事業を進め、賑わい創出及び交流人口の増加を図る。
	対象	全国や国外、本市を訪れる観光客
	手段(活動指標)	レンタサイクルの整備・管理、パンフレットやWeb等を活用したサイクリング情報の発信
	意図(成果指標)	県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① レンタサイクルステーション設置数	箇所	5	5	5	5	100.0%	5
	② レンタサイクル事業委託金額	円	306,400	342,816	545,000	548,000	100.6%	635,000
	① レンタサイクル利用台数	台	528	598	1,200	1,210	100.8%	1,500
	② レンタサイクル利用料収入	円	188,900	224,000	600,000	533,400	88.9%	937,500

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	0	0	7,500,000	6,889,764		3,358,000
	①国庫支出金	円			3,750,000	3,356,000		1,000,000
	②県支出金	円			0	500,000		666,000
	③地方債	円			0			0
	④その他(使用料、雑入等)	円			750,000			1,271,000
人件費	⑤一般財源	円	0	0	3,000,000	3,033,764		421,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	0	0	2	2		2
	②年間所要時間	時間	0	0	600	600		600
総費用(A+B)	円	0	0	9,825,600	9,215,364		5,683,600	

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>既存のレンタサイクルに加え、新たにE-Bike(10台)購入し、観光客向けに貸し出しを開始した。サイクリングマップの作成及び、専用ホームページの開設を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	6 評	妥当性		A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性
有効性			B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である
					③対象の妥当性	1 妥当である
					①目標達成度	2 目標どおり
効率性		B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	2 普通	
				①コスト効率	2 普通	
1 次評価	結果(課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	富山湾岸サイクリングコースのナショナルサイクルルート指定をきっかけとしたサイクルツーリズムの推進は、賑わい創出及び交流人口の増加に資するものであり、レンタサイクル事業の実施体制を含め、効果的な事業実施を検討しながら進めていくべき事業であると考えます。	③負担割合の適正化	1 適正である
					2 次評価	不要

1 基本項目	事務事業名	広域観光連携事業				担当部署	課等名	商工観光課	
	予算事業名	広域観光連携事業					係名	観光戦略係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	平成11年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標3. 輝くまち					款	商工費	
	政策名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり				項	商工費		
	施策名	施策22. 観光の振興				目	観光費		
	基本事業名	基本事業22-4. 広域観光ネットワークの振興				総合計画主な事業			記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連			関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	富山県、近隣の自治体及び民間事業者と連携して、国外や県外へ観光客の誘客に向けた効果的なPRを行うとともに、その圏域内の受け入れ態勢の整備を図る。
	対象	全国や国外、本市を訪れる観光客
	手段(活動指標)	首都圏での観光宣伝活動。地元や首都圏での観光イベントの開催。
	意図(成果指標)	県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 北陸国際観光テーマ地区協議会負担金額	円	100,000	100,000	100,000	100,000	100.0%	100,000
	② 立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会負担金額	円	50,000	50,000	50,000	50,000	100.0%	50,000
	① 県外観光客の入込数	人	180,183	188,502	313,800	238,215	75.9%	326,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	8,688,140	5,421,000	6,568,000	6,564,480	21.1%	6,775,000
	①国庫支出金	円	2,910,000	1,220,000	1,381,000	1,381,000	13.2%	1,885,000
	②県支出金	円						0
	③地方債	円						0
	④その他(使用料、雑入等)	円			1,000,000	1,000,000		500,000
人件費	⑤一般財源	円	5,778,140	4,201,000	4,187,000	4,183,480	-0.4%	4,390,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,100	1,600	1,600	1,600	0.0%	1,600
総費用(A+B)	円	12,951,740	11,622,600	12,769,600	12,766,080	9.8%	12,976,600	

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光連携によるツーリズムEXPOジャパン2022への出展(新川地域観光開発協議会)</li> <li>・いかわ観光圏協議会事業への参画(負担金拠出)</li> <li>・新旅行造成市町村タイアップ事業の実施(とやま観光推進機構事業(日本版DMO)との連携)</li> <li>・美しい富山湾クラブ事業への参画、実行委員会の魚津市開催の協力</li> <li>・北陸国際観光テーマ地区協議会によるSNSによる情報発信</li> <li>・立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会参加</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	観光客の動線は広域化しており、スケールメリットを生かした様々な連携が必要不可欠である。市、県及び県を超えた事業連携や、民間事業者との連携を進めていくことも重要であり、より効果的な取り組みを検討するべきである。	2 次評価	